

令和7年度 柳迫小学校 学校評価 集計結果

評価判定(4:大変よい 3:良い 2:もう少し 1:努力したい)

事項	番号	評価項目	一学期平均	意見(記述)
教育課程	1	校長室だより(各月学校経営)やグランドデザインを理解し、授業改善や学級経営・校務運営等に活かしている。	3.7	
	2	日々の教育活動や学校行事等の実施を通し、より効率的・効果的な視点から教育課程編成・業務改善に努めている。	3.5	
学習指導	3	学び合い(学びの共同体の理念)のある授業を通して、意識的に児童同士をつなぎ、聴き合う関係づくりに取り組んでいる。	3.0	
	4	個人学びの共同作業としてのペア・グループ学習やジャンプの課題を授業の中に位置づけ、協働・探求的な学びの推進を図っている。	3.4	
	5	普段からICTの効果的な活用を意識した授業づくりを行う等、日々の授業を大切に積み上げる姿勢をもち、相互参観授業等を通して授業を開いている。	3.1	
生徒指導	6	いじめ・不登校の早期発見、解消のために児童と向き合う場を確保し、積極的に保護者、同寮と連携を図っている。	3.0	・ 児童の言葉遣い(やばい、マジで等)が気になっています。公開も控えていますので、場に応じた言葉遣いも学んでほしいです。 ・ 8については、側面からしか子どもたちや保護者と関わりを持ってないが、学級担任の先生方は、子どもたちや保護者と日々、連絡を取り合ったり、共感的に関わったり、本当に献身的に取り組んでいらっしゃると思います。
	7	月毎の「生活目標」「保健目標」を具体的に指導し、基本的生活習慣の定着を図っている。	3.3	
	8	児童や保護者との教育相談を計画的に実施したり、連絡を取り合ったりし、共感的な態度で信頼関係の構築に積極的に取り組んでいる。	3.0	
	9	児童が誰にでも進んで「語先後礼」のあいさつができるように、教師が模範となり師弟動向の取組を行っている。	3.1	
	10	朝のボランティア活動、「一活十本」の意を汲んだ環境整備等に積極的に取り組ませ、ボランティア(青少年赤十字)精神の育成に努めている。	2.7	
保健指導	11	感染症対策や疾病予防に基づいた保健・衛生指導に努めている。(うがい・手洗い・換気・菌みがき指導等)	3.2	・ 学校主事を中心として、校内外の環境が常に整えられており、ありがたいです。
	12	校内における児童の安全な過ごし方や危険予知能力の育成、体力の向上に努めている。(廊下歩行・遊具等の使い方・運動の生活化等)	3.3	
学級経営	13	将来の夢や目標をもたせ、その夢実現にチャレンジする児童の育成に努めている。(キャリア教育の視点から)	3.3	
	14	児童一人一人に居場所があり、人権教育の視点に基づいた困り感のある子も安心して過ごせる学級づくりに努めている。(見えないカリキュラムを大切にしている。)	3.6	
	15	保護者からの要望や相談について、傾聴姿勢で向き合い、その内容を理解し、誠実かつ適切に対応している。	3.3	
校務・研修	16	教育公務員として使命感をもって職務に取り組むとともに、服務規律の維持に努めている。	3.0	
	17	校務分掌を通して学校運営に参画し、年間を見通して計画的に業務を遂行し、その改善に努めている。	2.9	
	18	校内研修や校外研修に積極的に参加したり、自主研修に取り組んだりし、学んだ事を日々の教育実践に活かそうとしている。	3.0	
	・ 2. 9～3. 7の評価。最も評価が高かった項目は「校長室だより(各月学校経営)やグランドデザインを理解し、授業改善や学級経営・校務運営等に活かしている。」最も低かったのは「朝のボランティア活動、「一活十本」の意を汲んだ環境整備等に積極的に取り組ませ、ボランティア(青少年赤十字)精神の育成に努めている。」である。3以下の項目は2つ。 ・ 昨年度同時期の評価と比較すると、「いじめ・不登校の早期発見、解消のために児童と向き合う場を確保し、積極的に保護者、同寮と連携を図っている。」の項目のみ、-0.2P下がり、残りの項目は、全て昨年度より評価が高かった。特に0.8Pアップしたのが「校長室だより(各月学校経営)やグランドデザインを理解し、授業改善や学級経営・校務運営等に活かしている。」と「普段からICTの効果的な活用を意識した授業づくりを行う等、日々の授業を大切に積み上げる姿勢をもち、相互参観授業等を通して授業を開いている。」である。			